

競 技 上 の 注 意

1. 本大会は2021年（公財）日本陸上競技連盟競技規則及び本大会申し合わせ事項による。
2. 本競技会に参加するに当たり下記に示す提出物を必ず提出すること。
必要な書類の提出がない場合は出場が認められなくなります。
 - (1) 様式1「健康チェックシート」を参加日ごとに送付書付きで各校まとめて受付に提出（原則として朝のうちに）する。
 - (2) 様式2-1「出場届」、様式2-2「【大会前】新型コロナウイルス感染症についての体調管理チェックシート」を招集時に提出する。予選、決勝がある種目は予選時の提出のみ（日をまたぐ場合も予選時のみ）でよい。
 - (3) 大会終了後2週間の体調を記録し、様式3「【大会後】新型コロナウイルス感染症についての体調管理チェックシート」を各校顧問に提出する。各校顧問は必要に応じ提出できるよう保管しておく。
3. 招集について
 - (1) 招集では、競技者は招集集合時刻までに招集所に集合し、掲示されたエリアで待ち、競技者係より胸背部のアスリートビブス（※ナンバーカード。以下すべてアスリートビブス）と腰アスリートビブス、スパイク、シューズ、様式2-1「出場届」、様式2-2「【大会前】新型コロナウイルス感染症についての体調管理チェックシート」の確認を受けた後、競技者係の誘導に従って競技場内に入場する。
 - (2) 大会はWA規則143条TR5を適用する。100m～400m、100mH、100mYH、110mH、110mJH、400mHはソールの最大の厚さが20mmを超えるシューズは使用できない。800m以上は、ソールの最大の厚さが25mm（競歩は40mm）を超えるシューズは使用できない。トラック競技出場者は、スパイク以外のシューズを使用する場合は招集の際、検定を受けること。
 - (3) 長距離競走出場（3000m、5000m、5000mW、3000mSC）の競技者へは、招集時に胸用の特別アスリートビブスを配布する（安全ピンは各校で準備すること）。背中のアスリートビブスは各自のものをつけること。また、腰アスリートビブス（10番以降）を招集時に係より受け取り、退場の際、招集所で返却すること。
 - (4) 招集は、代理人は認めない。
 - (5) 競技を棄権する場合には「棄権届」を招集所競技者係に提出する。招集完了時刻に遅れた競技者は棄権とみなす。
4. 競技者の変更は認めない。
5. アスリートビブスは各校で準備し、トラック種目出場者は胸背部と腰部（右腰後方）、フィールド種目出場者は胸背部（跳躍競技は胸部・背部のみでもよい）につける。
6. 練習のための投てき用具の貸出しはしない。
7. 棒高跳ポール以外は、競技場備えつけの用具を使用する。ただし、やり（男女）の持ち込みについては、8:30～8:50に本部にて検定を行う。
8. 100m・200m・100mYH・100mH・110mH種目は、タイムレースにより8名を選び決勝を行う。それ以上の距離のトラック競技は、すべてタイムレース決勝で行う。

9. 予選において、同タイムの場合は1/1000秒単位をもって判定する。

10. 5000mWは、制限時間を設ける。下記の時間までに最終周に入れなかった場合は、レースを中止させる。

〈途中棄権扱いとする〉

① 女子5000mW；最終周で35分00秒以内、 ② 男子5000mW；最終周で35分00秒以内

11. 個人情報の取り扱いに関して

大会参加に際して提供される個人情報は本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的に利用することはない。

12. ゴミ処理について

ゴミは、各自で必ず持ち帰ること。

13. 跳躍競技の男子・女子1年走幅跳と男子共通走幅跳は2ピットで行う。

14. バーのあげ方

| | | 練習 | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
|----|----|-----|----------------|------|------|------|------|------|------|------------------|
| 男子 | 共通 | 走高跳 | 1m60 1m80 1m90 | 1m65 | 1m70 | 1m75 | 1m80 | 1m85 | 1m88 | 1m91 以下3cmずつ |
| | 共通 | 棒高跳 | 2m90 3m70 4m00 | 3m00 | 3m20 | 3m40 | 3m60 | 3m80 | 3m90 | 4m00 以下10cmずつ |
| 女子 | 共通 | 走高跳 | 1m30 1m45 1m55 | 1m35 | 1m40 | 1m45 | 1m50 | 1m55 | 1m58 | 1m61 以下3cmずつ |
| | 共通 | 棒高跳 | 1m70 2m60 | 1m80 | 2m00 | 2m20 | 2m40 | 2m50 | 2m60 | 2m70 以下10cmずつ |

15. 計測ライン（天候等の状況により変更することがある。）

| | | 走幅跳 | 三段跳 | 砲丸投 | 円盤投 | ハンマー投 | やり投 |
|----|----|------|-------|------|-------|-------|-------|
| 男子 | 1年 | 5m10 | / | なし | / | / | / |
| | 共通 | 5m60 | 11m20 | 8m00 | 20m00 | 20m00 | 35m00 |
| 女子 | 1年 | 4m00 | / | / | / | / | / |
| | 共通 | 4m20 | 8m00 | なし | 18m00 | なし | 20m00 |

16. 表彰式は、3位まで行う。

17. ハードル補助員（1校 3名とする）

1台目 佐和 2台目 水戸葵陵 3台目 取手松陽 4台目 牛久栄進 5台目 古河一
6台目 古河中等 7台目 並木中等 8台目 下館一 9台目 境 10台目 つくば秀英

18. 競技者・補助員以外の競技場内への立ち入りを禁止とする。
19. プログラムの氏名・アスリートビブスなどに訂正がある場合は、招集所で行うこと。
20. 助力については、競技規則第144条に従う。なお、スタンドからの映像を見せる事は認めるが、映像機器等をスタンドから吊り降ろしたり、競技者に手渡したりしての映像の確認は認めない。
21. 応援について
感染症拡大防止の観点から次のように規制します。
(1) 競技場は関係者しか入場することができずその他無観客での実施とする。
(2) 声を出しての応援は禁止とする。（拍手等の応援のみ）

練習会場での注意事項

1. 練習は各校監督のもと、事故防止に十分配慮すること。
2. 補助競技場・投てき場では危険が伴うので、十分注意して行うこと。なお、使用する投てき用具は各自持参すること。
3. 補助競技場等のウォームアップエリアへは混雑を回避（密を防ぐ）するために付添等は入らないこと。
4. 補助競技場の使用レーンについては次の通りとする。
1～2 レーン：中・長距離、 3～6 レーン：短距離、 7～8 レーン：ハードル
5. 補助競技場の使用については16：30をもって終了する。
6. 投てき種目の練習については、下記のとおりとする。
なお、投てき場については、当日実施種目（記載種目）の練習を最優先とし、その他の種目については記載種目の時間外で練習すること。練習の際は、顧問の先生の監督のもと、安全に留意して行うこと。

| | 投てき場(記載種目) | 本競技場 | 補助競技場 |
|-----|--|------|-------|
| 第1日 | 男女砲丸投 … 8:30～9:20 男女やり投 … 8:30～9:20 | 使用禁止 | 使用禁止 |
| 第2日 | 男子円盤投 … 8:30～9:10 男女ハンマー投 … 9:10～9:40 女子円盤投 …12:10～12:40 | 使用禁止 | 使用禁止 |

※投てき場の使用については15:00をもって終了する。